

感染状況・医療提供体制の分析(9月14日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月7日時点)	現在の数値 (9月14日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	14825人 (789.9人)	10962人 (584人)	↓	感染状況コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり584人</u> と減少。園・学校再開後の影響か、10代以下が占める割合が少しずつ増加。クラスターも継続的に発生。 今後連休が続くため、連休の影響にも注視が必要。症状がある場合は外出を控える、屋内でのマスク、手指衛生、換気の徹底、ワクチン接種、大人数での会食を避けるなど、日常生活の中、個人で行える感染対策の継続を。特に、高齢者や基礎疾患のある方への感染を防ぐ対策を。
		60歳以上 (総数に占める割合)	2119人 (14%)	1424人 (13%)	↓	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	6186人	4829人	↓	
		県南西部	6157人	4717人	↓	
		高梁・新見	446人	261人	↓	
		真庭	224人	200人	↓	
	津山・英田	1806人	951人	↓		
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	301人 (48%)	251人 (40%)	↓	医療提供体制コメント レベル4. 体制が逼迫していると思われる 新規感染者の減少に伴い、入院患者数や療養者数も減少。医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機は続き、医療提供体制への負荷が継続しているものの、状況の改善がみられる。緊急性の低い救急外来受診は減らすなど、医療を守る行動の継続を。	
	④宿泊療養者数	120人	68人	↓		
	⑤自宅療養者数	17119人	8649人	↓		
	⑥重症者数	4人	6人	↑		